



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東
コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三嶋 隆
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部 部長 (氏名) 谷 直樹 TEL 03-5728-1761
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月5日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 42,768 | 17.5 | 3,771 | 76.6 | 3,735 | 71.4 | 2,491 | 72.6 |
| 2023年3月期 | 36,400 | 6.9 | 2,134 | △42.5 | 2,179 | △41.2 | 1,443 | △43.3 |

(注) 包括利益 2024年3月期 2,714百万円 (105.0%) 2023年3月期 1,324百万円 (△48.6%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 94.22 | — | 11.9 | 13.8 | 8.8 |
| 2023年3月期 | 53.62 | — | 7.0 | 8.1 | 5.9 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 28,346 | 21,862 | 77.1 | 826.88 |
| 2023年3月期 | 25,932 | 20,152 | 77.7 | 762.20 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 21,862百万円 2023年3月期 20,152百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 3,942 | △2,251 | △1,009 | 11,489 |
| 2023年3月期 | 904 | △2,334 | △2,440 | 10,800 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 38.00 | 38.00 | 1,004 | 70.9 | 4.9 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 39.00 | 39.00 | 1,031 | 41.4 | 4.9 |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 39.00 | 39.00 | | 52.9 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 43,000 | 0.5 | 3,000 | △20.4 | 3,000 | △19.7 | 2,000 | △19.7 | 75.64 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期 | 28,296,000株 | 2023年3月期 | 28,296,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期 | 1,855,989株 | 2023年3月期 | 1,855,966株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年3月期 | 26,440,020株 | 2023年3月期 | 26,919,568株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 42,395 | 17.4 | 3,927 | 69.5 | 3,899 | 64.7 | 1,829 | 11.9 |
| 2023年3月期 | 36,121 | 6.3 | 2,317 | △40.1 | 2,367 | △38.8 | 1,634 | △39.0 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 69.21 | — |
| 2023年3月期 | 60.72 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 28,013 | 21,530 | 76.9 | 814.33 |
| 2023年3月期 | 26,226 | 20,570 | 78.4 | 778.02 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 21,530百万円 2023年3月期 20,570百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和や人流の回復により、社会経済活動の正常化が進み、日経平均株価が史上最高値を更新するなど、景気の回復傾向が継続しております。また、海外からの入国制限緩和により、2023年の訪日外国人消費額は過去最高となり、消費活動の持ち直しはより顕著なものとなっております。一方で、足元ではFRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ観測があるものの為替の円安傾向はさらに強まり、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高止まり、イスラエル・パレスチナの紛争拡大による地政学的リスクや中国経済の先行き懸念が高まっており、依然として景気の下振れリスクが存在する状況が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する!」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP(知的財産)を利用した商品販売に注力し、2024年3月期を初年度とする「中期ビジョン」実現のための取り組みを行いました。世界観ビジネスが当社の業績を牽引、ガールズトレンドビジネスの収益性が安定していることから、中期ビジョンにおける業績目標に対して順調に推移しており、過去最高の売上高を達成しております。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高は42,768百万円(前期比117.5%)、営業利益は3,771百万円(前期比176.6%)、経常利益は3,735百万円(前期比171.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,491百万円(前期比172.6%)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 1. 報告セグメントの概要」に記載のとおりであります。

(世界観ビジネス)

世界観ビジネスにおきましては、定番キャラクターや、人気漫画作品及び世界的人気ゲーム等のトレンドを踏まえた多数のIPの獲得とその商品化に引き続き注力し、売上は大きく伸長しました。

商品の生産は主に中国で行っているためドル建てでの決済であり、円安による仕入費用増の影響はあったものの、為替変動リスクを軽減するための対策を適宜実施し、海外取引先の売上を円建てからドル建て取引に変更したことも寄与して、営業利益も確実に増加しました。

クレーンゲーム景品は、クレーンゲーム市場拡大と複数の人気IPの商品化に加えて、前述のインバウンド需要の回復も後押しした結果、売上規模は大きく拡大しております。

海外物販は、主要マーケットである中国及びアメリカからの受注状況改善のため、新規販路の拡大や海外向けのIP取得に注力しております。

高価格帯ホビーは、ホビーECサイト「FURYU HOBBY MALL(フリーホビーモール)」におけるポイントサービスの導入や、開設1周年キャンペーンなどを実施しており、商品の販売状況も好調のため前年を上回る売上となっております。

この結果、世界観ビジネスにおける当連結会計年度の売上高は23,317百万円(前期比142.6%)、営業利益は1,710百万円(前連結会計年度は189百万円の営業損失)となりました。

(ガールズトレンドビジネス)

プリントシール事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらしたライフスタイルやニーズの多様化といった外部環境の変化に対応するため、従来よりも「+αの価値」を体験できる新機種の導入や、定番人気キャラクターや人気アーティストとのコラボの実施など、ユーザー数拡大のための販促施策を実施しました。この結果、当連結会計年度のプレイ回数は3,330万回(前連結会計年度は3,375万回)の微減となりました。一方、シール機本体の販売数増および商品・サービスの品質向上に伴う消耗品の価格転嫁により、増収増益を達成しております。

プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」におきましては、重要なKPIと位置付けている有料会員数は新規入会者の流入強化施策により、当連結会計年度を通じて会員規模を維持し、2024年3月末時点で147万人(2023年3月末時点は149万人)となりました。退会率の抑制と今後の当サービスのさらなる成長戦略として、2023年5月にプレミアム会員向けにフォトストレージ・サービス「PiCTLINK photos」をリリースし、10月にスタンダード会員まで対象を拡大しました。

この結果、ガールズトレンドビジネスにおける当連結会計年度の売上高は15,910百万円（前期比101.1%）、営業利益は4,421百万円（前期比104.7%）となりました。

（フリーニュービジネス）

家庭用ゲームソフト事業につきましては、7月発売の「クライマキナ／CRYMACHINA」の販売が好調であり、既存タイトルのダウンロード版や海外販売と合わせて同事業を牽引しました。

ゲームアプリ事業においては、既存2タイトルの運営を継続する一方、今後の顧客層拡大のため、新規タイトル「廻らぬ星のステラリウム」の開発に注力しました。

アニメ事業は、昨年ヒットした映画「ゆるキャン△」のBlu-ray・DVDや同シリーズの関連商品の販売が好調であり、この流れを維持してTVアニメ「ゆるキャン△」第3期の2024年4月放送開始に向けた準備に取り組みました。

カラーコンタクトレンズ事業につきましては、自社ECサイト「Mew contact(ミューコンタクト)」上で、開設10周年キャンペーンなどの販売促進施策を実施するとともに、サイトの顧客利便性改善を継続することで、引き続き顧客流入数を増加させる取り組みを進めております。

データ広告事業につきましては、新規顧客獲得のための営業活動に注力し、収益力の向上に努めております。

この結果、フリーニュービジネスにおける当連結会計年度の売上高は3,540百万円（前期比82.2%）、営業損失は574百万円（前連結会計年度は310百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の部

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,414百万円増加し、28,346百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加688百万円、電子記録債権の増加560百万円、商品及び製品の増加479百万円、原材料及び貯蔵品の増加173百万円、前払費用の増加146百万円、流動資産のその他の増加469百万円があった一方で、前渡金の減少135百万円があったことによるものであります。

②負債の部

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ704百万円増加し、6,483百万円となりました。これは主に、未払金の増加147百万円、未払法人税等の増加864百万円、未払消費税等の増加184百万円、契約負債の増加319百万円があった一方で、電子記録債務の減少869百万円があったことによるものであります。

③純資産の部

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,710百万円増加し、21,862百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴う利益剰余金の増加2,491百万円があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,004百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、営業活動による収入が3,942百万円、投資活動による支出が2,251百万円、財務活動による支出が1,009百万円となった結果、前連結会計年度末に比べ688百万円増加し11,489百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動においては、税金等調整前当期純利益を3,708百万円、減価償却費を2,024百万円計上しました。また、退職給付に係る負債は112百万円増加、売上債権は541百万円増加、棚卸資産は647百万円増加、未払金は127百万円増加、未収入金は131百万円減少、前渡金は135百万円減少、仕入債務は825百万円減少、法人税等の支払額は447百万円となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、3,942百万円の収入(前連結会計年度は904百万円の収入)となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出が1,639百万円、無形固定資産の取得による支出が526百万円、差入保証金の差入による支出が98百万円となりました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、2,251百万円の支出(前連結会計年度は2,334百万円の支出)となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動においては、セール・アンド・リースバックによる収入が1,395百万円、リース債務の返済による支出が1,400百万円、配当金の支払額が1,004百万円となりました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、1,009百万円の支出(前連結会計年度は2,440百万円の支出)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しとしては、個人消費やインバウンド需要を中心に景気が引き続き緩やかに回復していくことが期待される一方で、ロシア・ウクライナ、中東情勢の長期化による地政学的リスクや原材料費の高騰、円安傾向の継続など依然として先行きの見通せない状況が続くと見込まれます。

このような環境の中、クレーンゲーム景品等については、引き続き市場のニーズやトレンドを意識した新規キャラクターのIPを取得・商品化し、受注を積み上げていくことで、前年規模以上の売上高を目指しております。

海外物販については、中国経済の減退リスクがある一方で、新たな販路開拓と海外に特化したIP獲得を進めることで売上は当期以上に伸長する見込みであります。また、米国に現地法人の設立を予定しており、今後の海外事業展開を加速させてまいります。

高価格帯ホビーについては、より収益性の高い商品への商品数の絞り込みを行い、売上高は一時的に減少する前提を置いております。

プリントシール事業については、プリントシール機が持つ顕在的価値（写りの良さ）に加え、既存顧客調査に基づく「潜在的価値」を訴求していくことで、市場をさらに拡大していく方針を掲げ、組織体制を強化すると共に、シール機の開発及び各種マーケティング施策の立案を推進しております。結果、2025年3月期のプリントシール機の年間総プレイ回数は約3,440万回（前年比103.3%）で増加に転じる見込みであります。また、ピクトリンクの2025年3月末有料会員数は152万人（前年末は147万人）となり安定的な収益確保が継続すると想定しております。

一方で、家庭用ゲームソフト及びゲームアプリ事業については、オリジナルの新作タイトルを継続的にリリース、アニメ事業については、人気シリーズに成長した「ゆるキャン△」のTVアニメ第3期の放送を予定しており、増収を見込んでおります。

以上を踏まえまして、中期ビジョンの2年目となる来期の業績予想につきましては、売上高は43,000百万円（前期比100.5%）、営業利益は3,000百万円（同79.6%）、経常利益は3,000百万円（同80.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,000百万円（同80.3%）としております。

各事業の積み上げにより売上高は当期と同程度となり、利益面については保守的に円安や原材料費の高騰による影響が当面は継続すると予測しております。

なお、為替相場については、1米ドル=150.00円を前提としております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と企業価値向上につながる戦略的投資を優先的に実行することが、株主共通の利益に資すると考えております。株主に対する利益還元についても重要な経営上の施策の一つとして認識しており、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本として位置づけ、業績の動向や将来の成長投資に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。また、この方針に加えて、健全なる利益の拡大と株主の皆様への利益還元を一層重視すると共に、ROE15%以上を資本効率の目標として改善を進めてまいります。そのため、今後の配当につきましては、配当性向40%またはDOE（株主資本配当率）5.0%を参考指標とし、今後の企業価値向上に向けた中長期投資額を勘案したうえで、総合的に判断し決定することといたします。併せて、キャッシュ・フローの状況や株価推移に応じた機動的な自己株式の取得等も適宜検討してまいります。なお、剰余金の配当の決定機関は取締役会であります。

この基本方針に従って、当連結会計年度の期末配当につきましては、1株当たり39円としております。この結果、当連結会計年度の配当性向は41.4%、DOEは4.9%となりました。なお、次期の配当につきましては、1株当たり39円の期末配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,800,352 | 11,489,282 |
| 売掛金 | 4,250,802 | 4,232,502 |
| 電子記録債権 | 1,293,139 | 1,853,170 |
| 商品及び製品 | 1,889,241 | 2,368,368 |
| 仕掛品 | 21,106 | 16,094 |
| 原材料及び貯蔵品 | 512,118 | 685,252 |
| 前渡金 | 1,255,756 | 1,119,929 |
| 前払費用 | 275,063 | 422,000 |
| 未収入金 | 335,275 | 253,981 |
| その他 | 233,723 | 703,349 |
| 貸倒引当金 | △5,422 | △1,152 |
| 流動資産合計 | 20,861,156 | 23,142,780 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 197,563 | 221,843 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 160,641 | 167,462 |
| リース資産（純額） | 2,244,187 | 2,137,469 |
| その他 | 63,221 | 106,827 |
| 有形固定資産合計 | 2,665,613 | 2,633,603 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 310,735 | 395,002 |
| その他 | 357,203 | 412,638 |
| 無形固定資産合計 | 667,939 | 807,641 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 21,048 | 18,612 |
| 破産更生債権等 | 18,332 | 13,325 |
| 長期前払費用 | 61,268 | 51,987 |
| 敷金及び保証金 | 508,538 | 589,641 |
| 繰延税金資産 | 1,135,620 | 1,091,133 |
| その他 | 10,975 | 10,975 |
| 貸倒引当金 | △18,332 | △13,325 |
| 投資その他の資産合計 | 1,737,452 | 1,762,350 |
| 固定資産合計 | 5,071,005 | 5,203,595 |
| 資産合計 | 25,932,162 | 28,346,375 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 734,435 | 778,609 |
| 電子記録債務 | 1,565,204 | 695,539 |
| リース債務 | 127,356 | 173,136 |
| 未払金 | 718,142 | 865,809 |
| 未払費用 | 1,432,538 | 1,313,869 |
| 未払法人税等 | 100,180 | 964,180 |
| 未払消費税等 | 56,071 | 240,144 |
| 契約負債 | 349,998 | 669,274 |
| 受注損失引当金 | 182,815 | 272,914 |
| その他 | 227,529 | 237,129 |
| 流動負債合計 | 5,494,273 | 6,210,607 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 278,350 | 266,310 |
| その他 | 6,996 | 6,845 |
| 固定負債合計 | 285,347 | 273,155 |
| 負債合計 | 5,779,620 | 6,483,762 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,639,216 | 1,639,216 |
| 資本剰余金 | 1,614,716 | 1,614,716 |
| 利益剰余金 | 19,024,692 | 20,511,058 |
| 自己株式 | △2,000,368 | △2,000,402 |
| 株主資本合計 | 20,278,255 | 21,764,587 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △59,116 | 75,554 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △66,597 | 22,470 |
| その他の包括利益累計額合計 | △125,713 | 98,025 |
| 純資産合計 | 20,152,541 | 21,862,612 |
| 負債純資産合計 | 25,932,162 | 28,346,375 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 36,400,530 | 42,768,993 |
| 売上原価 | 21,265,612 | 25,969,121 |
| 売上総利益 | 15,134,917 | 16,799,872 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,000,076 | 13,028,830 |
| 営業利益 | 2,134,841 | 3,771,042 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 11 |
| 為替差益 | 33,033 | — |
| 債務勘定整理益 | 2,049 | 977 |
| 助成金収入 | 1,158 | 1,068 |
| 補助金収入 | 5,196 | — |
| 投資事業組合運用益 | 6,628 | 2,583 |
| 敷金及び保証金清算益 | 9,909 | — |
| 還付消費税等 | 34 | 1,614 |
| その他 | 187 | 393 |
| 営業外収益合計 | 58,203 | 6,649 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 133 | 128 |
| 為替差損 | — | 28,646 |
| 支払手数料 | 12,073 | 1,000 |
| 解約違約金 | — | 11,845 |
| その他 | 1,054 | 805 |
| 営業外費用合計 | 13,262 | 42,426 |
| 経常利益 | 2,179,782 | 3,735,265 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 74 | 64 |
| 特別利益合計 | 74 | 64 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 6,452 | 2,436 |
| 減損損失 | 4,966 | 24,103 |
| 特別損失合計 | 11,418 | 26,539 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,168,438 | 3,708,790 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 754,378 | 1,271,923 |
| 法人税等調整額 | △29,499 | △54,220 |
| 法人税等合計 | 724,878 | 1,217,702 |
| 当期純利益 | 1,443,560 | 2,491,087 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,443,560 | 2,491,087 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,443,560 | 2,491,087 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △113,444 | 134,671 |
| 退職給付に係る調整額 | △5,834 | 89,067 |
| その他の包括利益合計 | △119,279 | 223,738 |
| 包括利益 | 1,324,280 | 2,714,826 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,324,280 | 2,714,826 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,639,216 | 1,614,716 | 19,003,864 | △1,000,385 | 21,257,410 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,422,732 | | △1,422,732 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,443,560 | | 1,443,560 |
| 自己株式の取得 | | | | △999,983 | △999,983 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 20,828 | △999,983 | △979,155 |
| 当期末残高 | 1,639,216 | 1,614,716 | 19,024,692 | △2,000,368 | 20,278,255 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|--------------|---------------|------------|
| | 繰延ヘッジ損益 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 54,328 | △60,762 | △6,434 | 21,250,976 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △1,422,732 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 1,443,560 |
| 自己株式の取得 | | | | △999,983 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △113,444 | △5,834 | △119,279 | △119,279 |
| 当期変動額合計 | △113,444 | △5,834 | △119,279 | △1,098,434 |
| 当期末残高 | △59,116 | △66,597 | △125,713 | 20,152,541 |

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,639,216 | 1,614,716 | 19,024,692 | △2,000,368 | 20,278,255 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,004,721 | | △1,004,721 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,491,087 | | 2,491,087 |
| 自己株式の取得 | | | | △34 | △34 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | － | － | 1,486,366 | △34 | 1,486,332 |
| 当期末残高 | 1,639,216 | 1,614,716 | 20,511,058 | △2,000,402 | 21,764,587 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|--------------|---------------|------------|
| | 繰延ヘッジ損益 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | △59,116 | △66,597 | △125,713 | 20,152,541 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △1,004,721 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 2,491,087 |
| 自己株式の取得 | | | | △34 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 134,671 | 89,067 | 223,738 | 223,738 |
| 当期変動額合計 | 134,671 | 89,067 | 223,738 | 1,710,070 |
| 当期末残高 | 75,554 | 22,470 | 98,025 | 21,862,612 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,168,438 | 3,708,790 |
| 減価償却費 | 2,085,712 | 2,024,633 |
| 減損損失 | 4,966 | 24,103 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3,765 | △9,277 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 86,734 | 112,904 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6 | △11 |
| 支払利息 | 133 | 128 |
| 為替差損益 (△は益) | △9,193 | △7,459 |
| 自己株式取得費用 | 12,073 | — |
| 解約違約金 | — | 11,845 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 6,377 | 2,371 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △602,500 | △541,731 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △413,651 | △647,249 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △135,644 | 131,651 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △416,541 | 135,826 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △137,843 | △825,490 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 14,526 | 127,427 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 87,094 | △130,514 |
| その他 | △113,365 | 264,759 |
| 小計 | 2,633,544 | 4,382,708 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6 | 11 |
| 利息の支払額 | △133 | △128 |
| 法人税等の支払額 | △1,729,110 | △447,460 |
| 法人税等の還付額 | — | 7,043 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 904,307 | 3,942,174 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,800,705 | △1,639,741 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,319 | 1,053 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △476,771 | △526,030 |
| 差入保証金の差入による支出 | △81,458 | △98,811 |
| その他 | 22,796 | 11,905 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,334,820 | △2,251,624 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 1,870,135 | 1,395,985 |
| リース債務の返済による支出 | △1,876,081 | △1,400,309 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,012,056 | △34 |
| 配当金の支払額 | △1,422,732 | △1,004,721 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,440,734 | △1,009,079 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 9,193 | 7,459 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,862,054 | 688,929 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,662,406 | 10,800,352 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 10,800,352 | 11,489,282 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスを事業単位の基礎として、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービス別のセグメントから構成されており、「世界観ビジネス」、「ガールズトレンドビジネス」及び「フリーニュービジネス」の3つを報告セグメントとしております。

「世界観ビジネス」は、許諾を受けたキャラクター版権を利用し、アミューズメント施設が提供するクレーンゲーム用のぬいぐるみ、フィギュア等の企画・販売を中心とした事業です。「ガールズトレンドビジネス」は、プリントシール機及びその消耗品であるシール紙の販売を中心とした事業及び、プリントシール機の画像取得・閲覧サービスである「ピクトリンク」を中心としたインターネット上のコンテンツ・メディアの運営等を行っている事業です。「フリーニュービジネス」は、家庭用ゲームソフトやデジタルコンテンツプラットフォームに対応したソーシャルゲームの企画・販売、並びにアニメーション番組を企画・制作し、スポンサー企業を集め、製作委員会の組成を行うプロデュース業務、映像コンテンツの商品の販売を中心とした事業です。

当連結会計年度より、2024年3月期を初年度とする「中期ビジョン」を達成するために、ビジネスモデルを軸としたマネジメント体制に変更し、さらなる企業成長及び企業価値向上を目指しております。それに伴い、報告セグメントを従来の「プリントシール」「コンテンツ・メディア」「キャラクタ・マーチャンダイジング」「ゲーム」の4区分から、「世界観ビジネス」「ガールズトレンドビジネス」「フリーニュービジネス」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|------------|------------------|----------------|------------|------------|---------------|
| | 世界観ビジネス | ガールズトレンド ビジネス | フリーニュー ビジネス | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,347,545 | 15,745,584 | 4,307,399 | 36,400,530 | — | 36,400,530 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 16,347,545 | 15,745,584 | 4,307,399 | 36,400,530 | — | 36,400,530 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △189,278 | 4,223,465 | △310,162 | 3,724,024 | △1,589,182 | 2,134,841 |
| セグメント資産 | 799,311 | 4,023,726 | 1,225,713 | 6,048,752 | 19,883,410 | 25,932,162 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 33,560 | 1,471,684 | 482,687 | 1,987,933 | 97,779 | 2,085,712 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 22,378 | 1,617,949 | 509,859 | 2,150,187 | 106,282 | 2,256,470 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,589,182千円には、セグメント間取引2,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,591,582千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額19,883,410千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額106,282千円は、報告セグメントに含まれない全社設備投資であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|------------|------------------|----------------|------------|------------|---------------|
| | 世界観ビジネス | ガールズトレン ドビジネス | フリーニュー ビジネス | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,317,239 | 15,910,999 | 3,540,754 | 42,768,993 | — | 42,768,993 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 23,317,239 | 15,910,999 | 3,540,754 | 42,768,993 | — | 42,768,993 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,710,860 | 4,421,598 | △574,205 | 5,558,253 | △1,787,211 | 3,771,042 |
| セグメント資産 | 1,214,937 | 4,162,296 | 1,796,911 | 7,174,144 | 21,172,230 | 28,346,375 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 32,409 | 1,475,828 | 415,963 | 1,924,201 | 100,432 | 2,024,633 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 31,684 | 1,394,732 | 641,939 | 2,068,356 | 112,912 | 2,181,269 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,787,211千円には、セグメント間取引4,835千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,792,046千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額21,172,230千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額112,912千円は、報告セグメントに含まれない全社設備投資であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に存在する子会社及び支店がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高については、該当する売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に存在する子会社及び支店がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高については、該当する売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

「ガールズトレンドビジネス」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は4,966千円であります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

「フリーニュービジネス」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は24,103千円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 762.20円 | 826.88円 |
| 1株当たり当期純利益 | 53.62円 | 94.22円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 20,152,541 | 21,862,612 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 20,152,541 | 21,862,612 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 26,440,034 | 26,440,011 |

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 1,443,560 | 2,491,087 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 1,443,560 | 2,491,087 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 26,919,568 | 26,440,020 |

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2024年4月19日開催の取締役会において、下記の通り海外子会社の設立準備を開始することを決議いたしました。

(1) 子会社設立の目的

当社は、中期ビジョンで掲げる経営指標の達成に向けて、海外での売上の拡大に注力しております。今般、重点地域であるアメリカ合衆国における営業活動をさらに強化・拡大するため、新会社を設立することといたしました。

(2) 設立する子会社の概要

- ①商号 未定
- ②所在地 アメリカ合衆国カリフォルニア州
- ③代表者 未定
- ④事業内容 自社製品の営業販売
- ⑤資本金 2,000,000USD(予定)
- ⑥出資比率 当社100%
- ⑦設立年月 2024年度上期(予定)